

岡崎市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)【概要版】

計画の基本事項

●計画策定の背景

近年、地球温暖化による気候への影響が、人々の生活、自然環境、社会、経済にも重大な問題を引き起こしています。そのため単なる「気候変動」ではなく、私たち人類や全ての生き物にとっての生存基盤を揺るがす「気候危機」とも言われており、気候変動に対する本質的な取組が求められています。

本計画はこうした変化への対応を図り、これまでの計画の進捗状況と課題等を踏まえた新たな温室効果ガス排出削減目標と、目標達成のための施策を定めるとともに、本市が実施する地球温暖化対策に関する施策・取組の詳細を示しています。

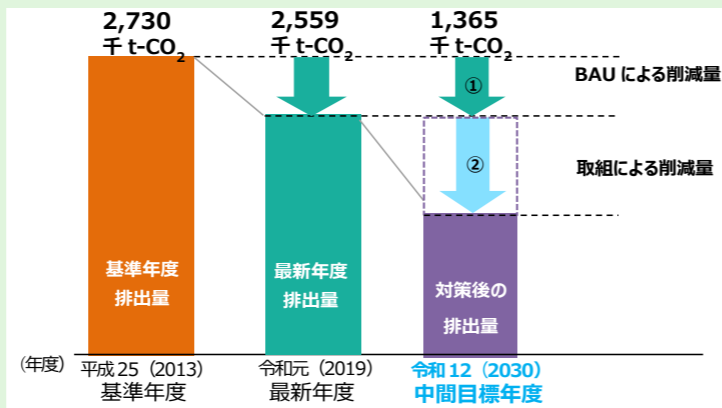
●計画の位置付け

本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律の第21条第3項に基づく計画です。
また、本計画は「岡崎市環境基本計画」に掲げる環境目標の1つ【環境目標3】「地球環境に配慮するまちに」の実現に向けた施策や取組を具体化する地球温暖化対策分野の個別計画を兼ねています。

計画の目標

●温室効果ガス排出量削減目標・排出量目標

本市の温室効果ガス削減目標は、2030（令和12）年度までに2013（平成25）年度比で50%と定め、国の「地球温暖化対策計画」に加え、本計画に定める施策を進めることで、温室効果ガス排出量の削減を図っていきます。



2030年度 温室効果ガス排出量削減目標
2013年度比 **50%削減**

●再生可能エネルギー等の導入目標

再生可能エネルギー等の導入目標は、本計画に定める施策を進めることで、発電設備の出力ベースで2030（令和12）年度196MWと定めます。平成25（2013）年度（117MW）の約1.7倍に相当します。

2013年度 再生可能エネルギーの導入量 **117 MW**
2030年度 再生可能エネルギーの導入目標 **196 MW**

●目指す将来像

本市は、暮らし・産業・自然が織り交ざった地域特性をしており、それぞれの特性との共存を図りながらゼロカーボンシティの実現を目指していく必要があります。
そのため、家計、会計、社会、環境に共通して通ずる「へらす」「つくる」「ためる」の3つのアプローチにより、将来像の実現を目指すものとします。

へらす・つくる・ためる(家計、会計、社会、環境にもやさしい)脱炭素

施策体系

計画目標

「へらす・つくる・ためる(家計、会計、社会、環境にもやさしい)脱炭素」

温室効果ガス削減目標
2030年度：50%削減
2050年度：実質ゼロ

再生可能エネルギー導入目標
2030年度：196MW
エネ需要の3%
2050年度：471MW
エネ需要の13%

基本方針

- ① 再生可能エネルギーで暮らすまち
- ② ゼロカーボンアクションが浸透したまち
- ③ エコな暮らしをしてしまうまち
- ④ 豊かな自然の恵みがもたらされるまち
- ⑤ 気候変動に適応した安全なまち
- ⑥ 多様な連携により脱炭素化を加速するまち

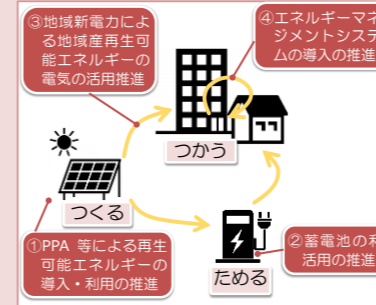
基本施策

- ①再エネの導入推進
- ②再エネの活用促進
- ③再エネの新しい使い方の促進
- ④脱炭素建築物の普及促進
- ⑤再エネの促進区域の検討
- ①脱炭素な生活様式への転換促進
- ②事業活動における脱炭素化の促進
- ③エコドライブの普及促進
- ④自転車等の利用促進
- ⑤3Rの推進
- ⑥環境教育・啓発の推進
- ①省エネルギー機器の導入促進
- ②次世代自動車の導入促進
- ③公共インフラの利便性向上
- ④地産地消(地消地産)の推進
- ①森林の保全・整備の推進
- ②中山間地域の活性化の推進
- ③市産材の利用促進
- ①災害への適応策の推進
- ②健康被害への適応策の推進
- ③水循環総合対策の推進
- ④農林業での適応策の推進
- ⑤気候変動に関する情報収集・発信
- ①市民協働による取組の推進
- ②次世代産業への取組支援
- ③業種間連携による取組の推進
- ④公民連携による取組の推進
- ⑤都市間連携による取組の推進

重点プロジェクト

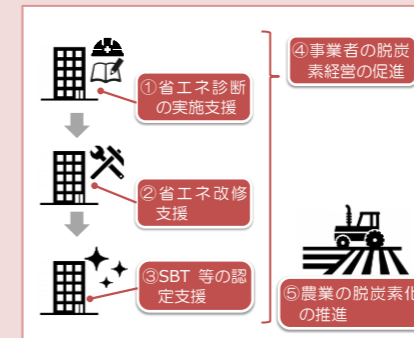
プロジェクト1 再エネ

岡崎さくら電力を中心とした再生可能エネルギーをスマートに使いこなすプロジェクト



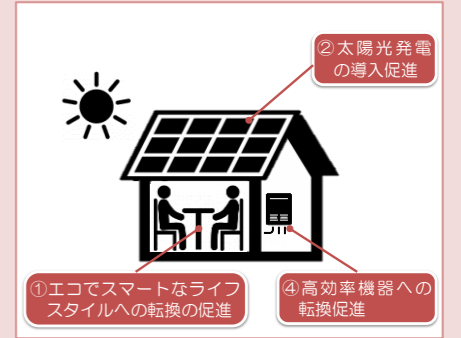
プロジェクト2 事業者

事業者の行動変容、事業所の脱炭素化促進プロジェクト



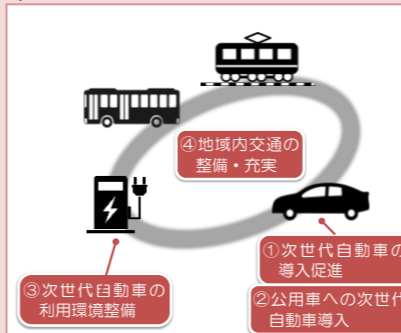
プロジェクト3 市民

市民の行動変容、再生可能エネルギー導入促進プロジェクト



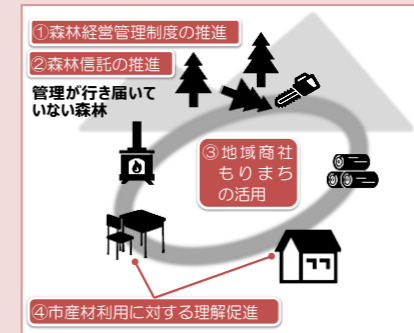
プロジェクト4 交通

交通環境の次世代化促進プロジェクト



プロジェクト5 森林

森林整備から始まる中山間活性化プロジェクト



プロジェクト6 市役所

公共施設の脱炭素化 100%推進プロジェクト

